



2月21日(木)、初声中学校の3年生が、海藻おしば教室に参加しました。最初に、海藻おしば協会の野田会長が、「海藻おしばで海と地球環境を考える」～光はごはん、海をよごさないで～というDVDで、海の森の大切さを訴えました。海の森は、生き物のすみかになるとともに、海を浄化する力があるということを強調されていました。

また、海の植物が吸収するCO<sub>2</sub>(ブルーカーボン)の量は、陸上の植物が吸収するCO<sub>2</sub>(グリーンカーボン)の量の2.5倍であることや海藻にはなぜ、紅藻、褐藻、緑藻などの色があるのか等についても、詳しく話していただきました。



最後に、地球の温暖化等について、一人ひとりが考えて、「地球を救ってほしい」と、子どもたちに訴えかけました。

その後、子どもたちは海藻おしばづくりに取り組みました。マクサ、アナアオサなど全部で10種類の海藻を、水で濡らした台紙の上に、楊枝等を使って広げて、デザインしていきました。それぞれ個性にあふれた作品が次々に出来上がっていきました。

これらの作品は、協会の皆さんが、ラミネート加工して下さり、1週間後には、子どもたちに帰ってくるそうです。

子どもたち全員に、お土産として、海藻のしおりをいただきました。

貴重な体験をさせていただきました海藻おしば協会、日本海洋レジャー安全・振興協会の皆さん、ありがとうございました。



## 参加生徒の感想より その1

- ・海藻には1500種類もあるってことに驚いた
- ・海藻は、海の中で生きていて、他の魚のすみかになり、私たちの食べ物としても活躍してくれているのに・・・
- ・海の植物が、陸の植物の何倍もの二酸化炭素を吸収していることに驚いた
- ・海藻は、海の深さなどによって色が違うということ

がわかった/「海の森」というワードが、特に心に残った

- ・緑の海藻の仲間が、一番に陸に上がったことがわかった
- ・海藻も、私たちの暮らしに関わっていたのは知っていたが、その環境は、私たち人間がどうするかで変わっていくということを初めて知った



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで